

留学レポート

3 年 A 組 鈴木結

Rock Hill high School '23-'24

○ 留学しようと思ったきっかけ

小さいころから見ていた海外ドラマの影響で海外生活、特にアメリカの学校にあこがれるようになった。中学 2 年生の時には一カ月のホームステイに行くことを決めていて準備も進めていたけれどコロナで流れてしまい、タイミングの悪さに悲しい思いをした。しかし、コロナが落ち着いたタイミングで英語教室の先生に「やれるうちにやりたいことやるときな！」とのアドバイスをもらい、このチャンスを無駄にするわけにはいかないといい高校留学を決めた。

○ 留学準備

アメリカの高校留学ビザを取るために ELTiS の勉強をした。留学が決まってからは自己紹介のアルバムを作ったり、日本やアメリカの歴史や文化をすこし勉強したりした。

○ 留学先

ステイ先のテキサス州はアメリカの人でも言うくらいなんでも大きい！ただのスーパーでもすごく大きいパンや肉が大量に並んでいて驚いた。Rock Hill は 2020 年にできた新しい学校だったので、どの教室もすごくきれいで設備が整っていた。どこまでが学校の敷地なのかよくわからないくらい広くて校舎も大きかった。ダンスや音楽、競技やメディアの授業など、日本の普通の学校では教科としては勉強できないような分野にも力を入れていた。



○ 一日のスケジュール

授業がある日 7:30 起きる
 8:15 家を出る
 8:30-16:10 授業

マーチングのコンテストやコンサートの時期は毎日のように 7:00 から朝練があったり 19:00 まで練習があったりして毎日忙しかった。特にアメフトのシーズンは放課後にハーフタイムショーの演奏をしに行くので試合会場が遠い時には家につくのが深夜 12:30 の時もあった。休日の過ごし方は家庭によって大きく違った。3 つ目のホストの家では日曜日に朝ご飯を食べに行くことが多く、いろいろなカフェに行けて楽しかった。

○ ホストファミリー

通常、留学生のホストファミリーは一つという考えが一般的だけど、私はやむを得ない事情で 3 回ホストファミリーが変わった。留学前に期待していた留学生活とは程遠かったけど、ホストファミリーが 3 回も変わるなんてレアなケースなの

で貴重な体験ができてよかったと思う。

1つ目のファミリー バービー好きなお母さんと犬好きな女の子の家庭

2つ目のファミリー 仲のいい夫婦と弁護士を目指す大学生の家庭

3つ目のファミリー 料理上手なお父さん、勉強熱心なお母さん、スポーツマンの高校生の家庭

4つ目のファミリー ローカルコーディネーターのお母さん、歴史教師のお父さん、仲のいい姉弟の家庭



○ とっていた授業

English 3

日本でいう現代文のクラス。本を読んだり映画を見たりして物語の分析をしたりエッセイを書いたりした。英語のクラスだけどプロジェクトでポスターを作ったり絵をかくたりすることもあった。

Honors Algebra 2

日本の数 2B、数 3C から少し内容が抜き差ししたみたいな内容。一学期は計算が多くてテストも簡単だったけど、二学期からは文章題や日本で全く触れてない内容、知らない計算方法がたくさん出てきて大変だった。

US history

アメリカ史の授業。他の教科に比べて圧倒的に覚えることの量が多くて大変だったし内容も難しかったけど、ディベートやロールプレイをすることもたくさんあったので楽しかった。

Physics

物理のクラス。実験ベースの授業でグループワークが多かった。外に出て実験したりパソコンを使って計測する実験をしたりして楽しかった。

Dance, Band, Choir

どの教科も舞台芸術系の教科なので学期末やクリスマスの時期は練習で忙しかった。練習の環境が充実していて、パーカッションのパートだけでも練習室が4つもあったり、合唱のクラスの練習室に必ずピアノがあったりした。芸術系教科への力の入れ方が日本とは比べ物にならないと思った。



ダンスの友達と

○ 一番苦労したこと

3 回目のホストに移る前は留学中で一番苦労したし辛い時期だった。1 回目のホストから臨時で二回目のホストのもとへ移ったものの、通っている学校の学区外だったことや 3 週間ほどしかそこへいられなかったことなどから 3 回目のホストを早急に探さなくてはならなかった。しかし、新しいホストファミリーがなかなか決まらず友達にホストファミリーについてのパンフレットを渡したり先生に事情を説明したりしてホストファミリー探しをしていた。自分の居場所がどこにもないように感じてさみしかったし、これからどんな家庭に行くのかがわからなかったのでとても不安だった。また心が弱っているときに限って体調を崩すことが多く体調を回復させるのにも時間がかかって大変だった。

○ 一番思い出に残っていること

クリスマスにミュージカルを見に行ったこと。少し遠くにある教会で行われたミュージカルだったけど会場がすごく大きくて演出も派手だった。サンタさんが乗るそりが天井からつるされて観客の上を通ったり、天井に人がつるされて楽器を演奏したりどこを見ても楽しかった。公演の途中に自分が意識せずに物語を全部理解できていることに気づいて自分の英語力上達も感じた。すごく大事な瞬間だったなと思う。



○ 帰国した今の思い

帰国前はあまり名残惜しく思ったり、まだ残りたいと思ったりはしなかった。しかし帰国すると、楽しかったことを思い出してアメリカに行きたいとたまに思う。留学行く前は帰国後の自分がどう変わるのか想像もつかなかったけど、改めて振り返ってみるといい意味でそんなに変わらないなと思う。日本に帰ってから自分の感じ方とか考え方が変わっているなと感じることがあったけど、それは価値観やモノの見方の種類が増えたからだと感じる。

○ 成長したこと

つらかったことを乗り越えられたおかげで自分に自信がついたと思う。今までは失敗しても大丈夫と自分に言い聞かせて何かに挑戦することが多かった。しかし、留学中小さいことも大きいこともとにかくたくさんトライして失敗しても立ち直ってきたことで、今は何か失敗しても自分ならどうにかできると本気で信じるようになった。やる前はためらっていても、実際やってみると思いのほか楽しいことが大半だったのでいろんなことにトライしてみて本当に良かったと思うし、これからもできることをできるだけたくさんのかを経験したいと思う。また、留学中はすべてのことにおいて自分から行動しないと何も始まらなかったのが以前よりも主体的に動けるようになったし考えるようになったと思う。自分が何かをしたいとか助けてほしいと発信することで助けてくれたりアドバイスをしてくれたりする人が必ずいたのもそういう人の存在の大切さに気付いた。しかしそれと同時に、日本では誰かが発言しても返さなかったり聞く耳を持たなかったりする印象がアメリカよりも強いと感じた。これは日本の文化や国民性のようなものに根付いているのかもしれないけど、これからは自分も誰かの発信や行動に対してレスポンスできるようになりたいと思った。

○ 理系の留学

私個人では自分が理系であることをあまり意識したことはなかったけれど、理系生徒で高校留学に行く人は少ないらしい。文系の人ほど英語が得意なイメージがあるけれど、理系でも数式の中に英語由来の記号や単語が出てくることが多いし、大学に入ったら海外の論文を読む機会もあると思うので、理系で留学するのはとてもいいことだと思う。留学中にとっていた物理のクラスが日本の授業と比べて実験が多かったり見たことのない器具を使ったりすることができたのでとても楽しかった。しかし理系だと帰国後に日本での勉強が大幅に遅れることになり、テストまでに追いつくのはとても大変だった。特に大学の出願に評定の条件があり、悪い点数は取れないのでさらに気合を入れて勉強しなければならず、帰国してからはとても忙しかった。